

# 『LPI 認定試験 LPIC レベル 2 《201/202》リリース 2 対応【最短合格】テキスト&問題集』 ＜正誤表＞

- 45 ページ 「/etc/rc3.d/ディレクトリのファイルの例例」 1 行目  
【誤】 `$ls/etc/rc3.d/`  
【正】 `$ ls /etc/rc3.d/`
- 45 ページ 最終行  
【誤】 `/init.d/syslog`  
【正】 `/etc/init.d/syslog`
- 55、58、59 ページ GRUB の記述例 最終行  
【誤】 `initrd /initrd-2.4.18.1.img`  
【正】 `initrd /initrd-2.6.18-1.img`
- 63 ページ 「LILO によるブート選択画面の例」 1 行目  
【誤】 `bood:`  
【正】 `boot:`
- 92 ページ 「XFS の概要」 本文 5 行目  
【誤】 `mkxf.xfs` コマンド  
【正】 `mkfs.xfs` コマンド
- 216 ページ 表「configure 時のオプション」 最終行  
【誤】 `--with-module=モジュールタイプ:モジュールタイプ` | サードパーティのモジュールの追加のをする。  
【正】 `--with-module=モジュールタイプ:モジュールファイル` | サードパーティのモジュールを追加する。
- 220、221 ページ 「httpd.conf への記述例」 1 行目と最終行  
【誤】 `Directry`  
【正】 `Directory`
- 230 ページ 出題ポイント IP ベースのバーチャルホストの設定 3 行目  
【誤】 `<Virtualhost IP アドレス>~</Virtualhost>`  
【正】 `<VirtualHost IP アドレス>~</VirtualHost>`
- 231 ページ 「httpd.conf への記述例」 2 行目  
【訂正】 `ServerAdmin` の行はインデントで揃えますので、正しくは以下の通りになります。  
  
`<VirtualHost 192.168.2.1:80>`  
`ServerAdmin example@mail.example.com`  
`DocumentRoot /groups/example/www`
- 237 ページ 表「squid の例」 `reference_age` の説明  
【誤】 削除する期を間設定する  
【正】 削除する期間を設定する
- 245 ページ 表「Samba サーバで利用するポート」 4、5 行目  
【誤】 `sbind`  
【正】 `smbd`
- 291 ページ PAM の設定ファイルの書式  
【誤】 `riquired`  
【正】 `required`
- 302 ページ `sendmail.mc` の記述例 下から 7 行目  
【誤】 `confMAX_MESSAGE_SIZE`  
【正】 `confMAX_MESSAGe_SIZE`
- 303 ページ 2 個目の「`sendmail.mc` の記述例」  
【誤】 `define(`confMAX_MESSAGE_SIZE', `5242880')dnl`  
【正】 `define(`confMAX_MESSAGe_SIZE', `5242880')dnl`

●304 ページ ◆メールのリレー制御設定

【訂正】 この項の本文を以下の赤字部分に修正します。

`/etc/mail/access` ファイルには、メールのリレー制御の設定が記述される。

このファイルを作成するためには、まず**テキスト形式**で`/etc/mail/access`を作成し、リレーを設定するアドレスとその際の処理を記述して、その後に**DBM形式**に変換するという手順をふむ。

`/etc/mail/access` ファイルには、設定する IP アドレスやドメイン名を記述し、その後に処理内容を記述する。IP アドレスの場合、**CIDR形式**での設定は不可能であるため、**192.168.0** などとして記述する必要がある。

●305 ページ `/etc/mail/access` の記述例 最終行

【誤】 `Message`

【正】 `Message`

●305 ページ 「`makemap` の実行例」の上の本文

【誤】 `/etc/mail/access.db`に変換するためには、

【正】 **DBM形式**に変換するためには、

●305 ページ `makemap` の実行例

【誤】 `# makemap hash /etc/mail/access.db < /etc/mail/access`

【正】 `# makemap hash /etc/mail/access < /etc/mail/access`

●307 ページ `makemap` の実行例

【誤】 `# makemap hash virtusertable < virtusertable`

【正】 `# makemap hash /etc/mail/virtusertable < /etc/mail/virtusertable`

●310 ページ 出題ポイント、および本文 5 行目 (設定ファイル名)

【誤】 `~/.procmail`

【正】 `~/.procmailrc`

●311 ページ 「`procmail` の記述例」最終行

【誤】 `!/dev/null`

【正】 `/dev/null`

●323 ページ

【誤】 Dos 攻撃、DDos 攻撃

【正】 Do**S** 攻撃、DDo**S** 攻撃 ※最後の S は大文字です。

●324 ページ SYN クッキーの有効化、ping 要求に答えない設定

【誤】 `# echo '1' >`

【正】 `# echo 1 >`

●374 ページ 主なログファイル 下から 4 行目

【誤】 `/var/adm/wtmp`

【正】 `/var/log/wtmp`

●435 ページ [解答] 25 の正解

【誤】 [解答] 25 D

【正】 [解答] 25 **A**

●435 ページ [解答] 25 の解説

【誤】 マウントポイント・マップファイル・オプションである。

【正】 マウント**ベースディレクトリ**・マップファイル・オプションである。

●444 ページ [問題] 18 の選択肢 B

【誤】 4 番目のフィールドは、空白で区切られたマウントオプションのリストである。

【正】 4 番目のフィールドは、**カンマ**で区切られたマウントオプションのリストである。

●460 ページ [解答] 18 の正解と解説

【誤】 [解答] 18 B、C

【正】 [解答] 18 **A**、B、C

- 460 ページ [解答] 18 の正解と解説  
【追加】 解説冒頭に以下の文を追加します。

ファイルシステムは1行単位で記述され、各行のフィールドはTAB文字もしくは空白で区切られる。

- 460 ページ [解答] 19 の正解  
【誤】 [解答] 19 A、D  
【正】 [解答] 19 A、B

- 485 ページ [解答] 24 の正解と解説  
【誤】 [解答] 24 reiserfsck  
ReiserFS ファイルシステムをチェックをする場合は reiserfsck コマンドを利用できる。  
【正】 [解答] 24 reiserfsck または fsck.reiserfs  
ReiserFS ファイルシステムをチェックをする場合は reiserfsck コマンドや fsck.reiserfs コマンドを利用できる。

- 485 ページ [解答] 26 の正解  
【誤】 [解答] 26 A  
【正】 [解答] 26 C

- 549 ページ [問題] 27 の問題文  
【誤】 適切なものをすべて選択せよ。  
【正】 適切なものを選択せよ。

- 562 ページ [解答] 27 の解答  
【誤】 [解答] 27 D  
【正】 [解答] 27 B

- 568 ページ [問題] 9 問題文  
【訂正】 [問題] 9 の問題文を以下に差し替えます。

procmailrc のレシピのアクション行で転送先を指定する際に利用される文字を選択せよ。

- 583 ページ [解答]9 の正解と解説  
【訂正】 [解答]9 の正解と解説を以下に差し替えます。

[解答]9 (A)  
!を使用し、転送先を指定する。

- 618 ページ [問題] 9 procmail のレシピ 3行目  
【誤】 !/dev/null  
【正】 /dev/null

<本書サポートサイト>  
<http://www.shuwasystem.co.jp/support/7980html/2572.html>

<秀和システム>  
<http://www.shuwasystem.co.jp/>